

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名( 株式会社井口 浜の湯 )

# SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件において、差別しない体制を構築している。経営層が相談事項には積極的に関与している。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメントをテーマとした集合研修を定期的実施している。 ・「ハラスメント禁止」の周知文書を定期的に従業員に回覧を行っている。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8								16.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・長時間労働是正目的のため、「勤怠管理システム」を導入し、勤務時間の実態把握を厳格に行い、長時間労働の防止に取り組んでいる。									8.5 8.8								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・日本人と外国人の区別なく労働条件は同一のものとなっている。				4.4					8.7 8.8		10.2 10.3						
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・衛生委員会において「安全面」「衛生面」の重要性について周知を行っている。具体的には、従業員から「ヒヤリ・ハット」の事例を吸い上げたのち、情報共有をし、事故防止に向けた徹底を図っている。							3		8								
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・定期的に「メンタルヘルスチェック」を実施している。相談窓口を設置し、メンタル面において不調者が出た場合には、迅速かつ適切な対応ができるよう体制を整備している。							3										
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・就業規則内に「高齢者の雇用確保」にかかる規定を整備している。 ・【予定】ハローワーク等関係機関と連携し、積極的な障害者雇用を進める。 ・サービスマナー等に関する研修を定期的実施している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・eラーニングを活用したリスキニングに取り組んでいる。				4	5.5				8	9							
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・従業員全員が「同一労働・同一賃金」の原則を理解のうえ、正職員・パート職員の職責の明確化などに取り組んでいる。					5.5				8.5		10.2 10.3						
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・「健康づくりアクション宣言」を実施し、健康づくりに取り組んでいる。 ・【予定】「健康経営優良法人」への申請を今後進める。今後も、健康に関する勉強会を継続的に開催する。							3		8								
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・廃棄物の種類・量など現状を把握し、毎年削減に向けた計画を策定し自治体に報告をおこなっている。											11.6	12.4		14.1			
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本		【予定】	・「省エネ診断」を受診した。今後、報告をもとに具体的な削減に向けた行動計画を策定する。								7.3					13				
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・CO2排出量可視化サービス「e-dash」の利用を開始している。削減目標を策定し、進捗状況を管理している。									7.2 7.3			12.4	13.3				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる。	基本			・建物内にあるPCB機器等を把握し、適正に管理している。							3.9		6.3			11.6	12.4				

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本		【予定】	・環境に配慮した素材の製品を使用し、サービスを提供することで生物多様性に配慮した取り組みを進める。						6.6							15				
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・社員の福利厚生施策として、リユース商品を販売対象とする社会貢献型職域販売サイトを各社員が活用している。 ・【予定】環境に配慮した脱アメニティを導入する。							12.5		14.1								
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・主たる上水の使用場所である大浴場では節水シャワーを導入している。					6.4 6.6												
18	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ						3.9		6	7		12	13.3	14	15						
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ		【予定】	・今後、自社HPにて取り組み状況及び結果を随時情報発信する。							12.6										
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ									7.2			13								
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			・社内で使用する紙は、PEFC認証紙を優先的に調達している。 ・【予定】社内で廃棄する紙類の再生利用を進める。							12.2	13	14	15							
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・就業規則に服務規律を設け、社員に周知している。 ・定期的に、コンプライアンス研修し、社員に周知している。											16 16.5						
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・定期的にコンプライアンス研修を実施し、社員に不正競争行為の禁止を周知している。 ・宿泊予約のサイトコントロールを使用し、特定顧客への優先行為はできない状況である。											16						
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・就業規則に服務規律を設け、社員に周知している。							8.2 8.3	9									
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・HP上での予約に関しては、SSL暗号化技術を採用している。プライバシーポリシーを設定し開示している。											16						
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】													16						
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ							5			8	10	12	13	14	15	16	17			
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			・「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している。			3				8	9	10			17					



上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

**【記載留意事項】**

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。  
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクスセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
  - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
  - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定